

研究名：初発ステロイド感受性特発性ネフローゼ症候群における初回再発までの期間とその後の再発や免疫抑制薬導入との関連についての検討

1．研究の目的

初回寛解後早期に再発する患者は、2回目再発も早期に起こるか検証し、免疫抑制薬導入の時期を再検討する目的とします。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2005年5月～2022年6月1日までに初発特発性ネフローゼ症候群の治療を国際法に準じて開始した1歳以上20歳未満の方のうち、初回治療がステロイド感受性であり、治療開始後半年以内に再発し、かつ初回再発もステロイド感受性であった方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年12月31日

研究方法：初発寛解後に初回再発するまでの期間で、2回目の再発までの期間、免疫抑制薬の併用率や開始時期、ステロイド抵抗性または依存性ネフローゼ症候群への移行率、プレドニンの副作用などに相関があるかを後方視的に検討します。

3．研究に用いる情報の種類

（電子カルテより、年齢、性別、治療開始前の血液検査・尿検査所見、治療開始後寛解までの期間、初回再発、2回目再発、免疫抑制薬導入の時期、プレドニンの副作用などのデータを収集します。試料は特にありません。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代
理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2023年4月
31日まで**に下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が
生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 亀井宏一

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7467）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 猪野木雄太